平成30年度 事業者向け・放課後等デイサービス自己評価結果

平成30年9月30日

事業者名：たばしね学園児童デイサービスセンター「はばたき」

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・基準を満たしているが、利用状況により本体おもちゃ図書館、スヌーズレン室を利用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・法令で定められた基準を満たしており、職員は児童指導員、保育士の資格を有している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・身障者トイレは未設置である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		・昨年度よりサービス改善実施計画を作成し改善に向けた取り組みを進めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・昨年度から放課後等デイサービスガイドライン保護者向け評価表を活用しアンケートを実施、意向等を確認しながら業務に役立てている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・昨年の評価結果から開示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後法人本部と協議を進める。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・一人年1回程度外部研修を受講している。また、本体施設が開催する職場研修会に出席し研修している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		・サービス計画作成にあたっては子どもや保護者の希望を確認しながら作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・今年度新しくアセスメント様式を作成し、活用していく準備をしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・事業所会議等で活動の目的や内容を協議しながら進めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・事業所会議で活動内容が偏らないよう協議しながら進めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・長期休暇でなければできない内容を検討し実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・週に３～４回は集団活動を実施、月に1回程度は個別活動の時間を設け活動している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・出勤後ミーティングを実施し、その日のスケジュール、活動内容、送迎支援職員等を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後全職員が集まっての打合せはしていないが、気づいたことは次の日のミーティングで共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々、個別の支援記録を行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			・創作・健康・音楽活動を基本とし季節の行事や外活動も取り入れ支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・相談支援事業所によって異なるが現在2カ所の支援会議に出席している。情報交換は最も詳しい職員が対応している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・下校時担当の先生と情報交換を行っている。　・緊急時や送迎時間の変更がある際は、連絡を取り合える体制を整えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・現在、医療的ケアが必要な子どもは利用していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・情報が不十分である時は保育所等に確認しながら進めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・移行先への情報提供は直接行っていないが、関係する相談支援事業所へは情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・県発達障がい者支援センター発達障がい支援係長を講師に保護者との学習会を開催している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・今年度児童館担当者と連絡をとっているが、まだ障がいのない子どもとの活動の機会を設けるまでには至っていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	・事業所としては参加していないが、学園グループ内の相談支援事業所職員が参加しており情報共有している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・帰宅時や送迎で送り届けた際、家族と情報交換し共通理解に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか			○	・昨年から保護者を対象にした学習会を開催、子どもたちの成長につながるよう支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用契約時に説明を行っている。運営規程等については保護者に配布している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談にはその都度丁寧に対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・保護者会はないが、今年度親子での交流会を開催、また昨年に続き学習会も実施し保護者同士のつながりができつつある。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・本体施設と一緒ではあるが、第三者委員が入った苦情解決のシステムがある。利用者に対しては月1回「なんでも相談日」を設けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年3回「はばたきだより」を発行し活動の様子を伝えている。また、毎月行事予定表を配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・法人内に規定があり、規定を順守し対応している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・絵カードや写真カード、マカトン等を取り入れている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・地域の高校生等のボランティアは受け入れている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	・防犯マニュアルは未整備となっている。また、保護者への周知は課題となっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年間防災訓練計画に基づき年6回避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・本体施設が企画する年8回の職場研修の中で研修している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・可能性のある児童については、個別支援計画に盛り込み保護者に説明し同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・現在対象となる児童の利用はない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・法人リスクマネジメント実施要綱、取り扱い要綱に従い実施、引継ぎ時共有している。